



2009. 7. 20

「トップアスリートの試合は迫力があるんです」。障害者スポーツ大会のインターネット中継「モバチュウ」を手がけるNPO法人「STAND」の副代表を務める。

91年、車椅子の知人が出場した陸上大会を手伝ったのを機に、障害者スポーツにかかわるようになった。

ネット中継を始めたのは03年。応援する電動車椅子サッカーチーム(金沢市)の全国大会出場がきっかけだった。選手の一人が開催地・大阪市へ行けないと言いつつ、「お金なら貸すよ」と言っただけですが……。障害のため医者に長距離移動を止められたのだ。「そんなことも分からなかった



### 障害者のスポーツ大会をネット中継

## 伊藤 数子さん(47)

と思うと悔しくて」

「試合を見せてあげたい」。携帯電話(モバイル)会社の協力で実験を繰り返し、テレビ電話機能を活用したネット中継を実現させた。その選手はユニホームを着て家で観戦。「一緒に戦っているみたいだった」という言葉が忘れられない。モバイルライブ中継を略し「モバチュウ」。以来、ブラインドサッカーや車椅子バスケットボールなどの大会を取り上げてきた。

外出が困難な障害者は多い。5月に東京であった車椅子バスケット大会の最終日。来場は約2200人だが、中継サイトへのアクセスは約1万1000件に上った。

「今年も中継あるんですか」。見に行けない人から問い合わせが来る。「そう言われるとやめられないんですよ。多くの人に見てほしい」と

文と写真・伊藤奈々恵

東京都在住。91年に企画会社を設立、社長を務める。モバチュウの問い合わせは03・5464・6876。

毎 日 新 聞

3

総合

2009年(平成21年)7月20日(月)